「日本ワイン応援事業」を開始

メルシャン

メルシャンは2022年から展開してきた日本ワインの「コンサルティング事業」を進化させ、日本ワイン産業の発展と日本ワイン市場のさらなる活性化を目指す新たな取り組みとして「日本ワイン応援事業」を開始した。

今まで取り組んできた「コンサルティング事業」では国内のスタートアップワイナリーを中心にワイン用のブドウ栽培やワイン醸造、生産に関する技術的なサポートという各ワイナリーの課題に応じた支援を行うことで日本ワイン産業の発展に貢献。一方、ワイナリーの現場が抱える課題は栽培、醸造の技術面にとどまらず原材料や資材の調達、販売、広報などより多様で総合的な支援が求められているとわかってきた。加えてワイナリー、サプライヤー、消費者それぞれが個別に活動することでワイン造りを支える知見や情報が十分に連携されていない状況が見られる。その結果、日本ワインの価値や生産者の工夫が消費者に伝わりにくくなるほか、調達面での支障など業界全体の新たな課題が顕在化しつつある。近年、日本国内のワイナリー数は直近10年で200以上増加し、昨年には500ワイナリーを突破した。メルシャンはこうした日本ワイン産業を取り巻く環境変化と課題を踏まえ従来の「コンサルティング事業」を進化させ「日本ワイン応援事業」として取り組みを拡大する。

〈シークワーサー&レモン〉期間限定で

サントリーワインは「酸化防止剤無添加のおいしいワイン。」ブランドは2009年に発売以来ぶどうの果実味がしっかりと感じられ日本人の嗜好にあった味わいを持つワインとして愛飲されている。今回は〈シークワーサー&レモン〉発売でファン拡大を図る。中味はシークワーサーとレモンの果汁で爽やかな味わいの暑い夏にぴったりなすっきりとした味わいの白の辛口スパークリングワイン。アルコール度数は5度。オープン価格。

2025年1月～12月販売容量）の「酸化防止剤無添加のおいしいワイン。」ブランドは2009年に発売以来ぶどうの果実味がしっかりと感じられ日本人の嗜好にあった味わいを持つワインとして愛飲されている。今回は〈シークワーサー&レモン〉発売でファン拡大を図る。中味はシークワーサーとレモンの果汁で爽やかな味わいの暑い夏にぴったりなすっきりとした味わいの白の辛口スパークリングワイン。アルコール度数は5度。オープン価格。

酒税改正を反映

白鶴酒造は10月1日の酒税税率改正にともない同日出荷分から酒税税率改正分を反映し生産者価格の改定を実施する。

▽対象商品「その他の発泡性酒類」及び「低アルコールリキュール」計17品目。主な対象ブランドは淡雪スパークリング、ぷるぷるシリーズ、ZIMAなど。▽改正後酒税①その他の発泡性酒類＝1キロリットルあたり10万円。②アルコール分11度未満のリキュール＝1キロリットルあたり10万円

食材品も売る店にぴったり

「ベストパートナープラス」導入した高山本店

福岡県田川市の高山本店（高山友良社長＝1面参照）は、2019年に、ザ・コンピュータ社（本社・横浜市神奈川区）が開発・販売している酒販店専用のPOSレジシステム「ベストパートナープラス（BPS）」を導入した。

きっかけは同年に導入された消費税の食料品軽減税率だった。高山社長によると「当店は酒類だけではなく、菓子や調味料など食料品を数多く取り扱っていて、複数税率の対応に苦慮していた。そんな時に、営業に来たザ・コンピュータ社福岡支店の高橋祐樹氏に、軽減税率にも対処が簡単なBPSのシステムを紹介してもらった。説明を受け、食料品も扱う自店にぴったりだと考えた」。

商品データの入力などの作業は、ザ・コンピュータ社のサポートを得て、短時間で行うことができたそうだ。

ベストパートナープラス（BPS）」にて商品マスタの事前登録で「商品のバーコードを読み取れば商品ごとに税率が表記され不安だった税率変更への対応もスムーズに行えた」と同社長。

今、国会で審議されている消費税率引き下げ案が実施されても「BPSがあれば手間取らずに処理できるだろう」と、同社長は楽観している。

アフターケアの充実ぶりも同社長がBPSを評価しているポイントだ。

「田川市には高速道路が走っておらず、同じ福岡県内でも、ザ・コンピュータ福岡支店がある福岡市からは車で1時間以上かかるが、担当の高橋氏は、まめに訪れてくれる。また、彼に先約があるなど来てもらえない時も、ザ・コンピュータ社のサポートセンターにアクセスすれば、リモート操作でトラブルを解決してくれるので、非常に助かっている。BPSを導入して本当によかったと思っている」

取材メモから

☆…まだ火種は残っているとされるが、アメリカとイランの戦争が終結した模様。いろいろと問題があったとはいえ、アメリカが多くのイランの指導者を殺して始めた。

☆…明らかに国際法違反なのに、非難の声も多少あったが、表立って責任を追及する主要国はなかった。このほどのG7でも共同声明で「トランプ大統領の強力な指導力のもとで米国とイランの合意が発表されたことを歓迎する」と明記されたという。無理もないと思う。〝ジャイアン〟は強くて何をするか分からないからだ。「高市総理はトランプ大統領にこびている」と批判されているものの、変に逆らってほしくないので、それでいいと考える。

☆…大手ビールメーカーは10月にビールを酒税減税に合わせて値下げする。ただ、来春に「メーカー値上げを予定」との観測が流れている。酒消費量は何をしても減る。値上げは必要なのだろう。

うま酒 にが酒

取材メモから